

大沢田

おお

そう

た

大沢田の名は、病院前にある大沢田池に由来します。古くは大蔵田池と言われていましたが、今では大沢田池の呼称が一般的になっているようです。



年・頭・所・感

人を育てる

院長
相模 浩二

目次

年頭所感・人を育てる	1	院内クリスマスコンサートの開催について	4
新外来棟及び周産期病棟の工事進捗状況を報告します	2	平成23年度 中国地区DMAT実働訓練に参加して	5
玄関駐車場整備について	2	初期消火競技大会に参加して	6
研修センター新築整備が承認されました	3	女性事務職員の制服着用について・人事異動情報	6
消防訓練の実施	3	外来診療担当医表	7

新外来棟及び周産期病棟の工事進捗状況を報告します

新外来棟及び周産期病棟の建物は平成24年2月中旬、駐車場は24年5月初旬に完成する予定です。

新外来棟の鍵の引き渡し日（建築業者の管理から病院管理へ移る日）は現在の予定通り進みますと2月15日を目途としており、その日以降に順次引越を行うことになります。新外来棟の運用開始日は3月初旬となります。

並行して、治療棟改修及び大型放射線機器の入れ替え整備も行う予定であり、新型128列CTは4月中旬稼働、現行MRI移設稼働については5月初旬となる予定です。

また、24年1月中旬より古い建物の取り壊し等の準備も進んで参ります。

これにより患者駐車場、職員駐車場とも狭隘になってまいります。今後、引越等の諸準備に関して動きが活発化してきます。皆様のご協力を宜しくお願い致します。



玄関駐車場整備について

玄関前のロータリー（高山部分）を撤去し、外来患者さん用駐車場を設置しました。これは、新外来工事に伴い駐車場が手狭になるため行ったもので、整備に伴い、バス停やタクシー乗り場についても場所の変更を行っていますので、ご了承ください。

今後は、古い建物の取り壊し等も進むため、今回のような駐車場確保対策を順次行う予定にしています。今まで以上に皆様のご協力を宜しく申し上げます。





研修センター新築整備工事が 始まりました。

企画課長 徳永 正広

全額国庫補助金（10分の10整備）により、新外来棟の北側（10病棟北側職員駐車場です。）に約500㎡の平屋建て研修センターを整備することとなりました。

新研修センターは、研修室として

- ①大研修室A 約115㎡ 約50名利用（講義形式）
- ②大研修室B 約94㎡ 約40名利用（講義形式）
- ③小研修室 約44㎡ 約30名利用（講義形式）
- ④シミュレーションラボ 約44㎡ 約15名利用（ミーティング形式）
- ⑤控室 約25㎡ 約6名利用

の5室を有する機能的なセンターとなります。

また、大研修室はAとBを連結して使用可能でこの場合120名収容できます。竣工予定は3月下旬を予定しております。

現在の研修センターはそのまま維持し別用途に転用する計画です。

工事期間中、10病棟入院中の患者様への騒音及び職員駐車場が狭隘となることで皆様にはご迷惑をお掛けすることが多々生じると思いますがご協力方宜しくお願い致します。



消防訓練の実施

給与係長 鳥井 正紀



寒い日が続き、暖房器具を使用することが増えています。この時期は火事の発生が多いため、日頃から火災発生時の対応方法を共有していないと、いざという時に困ります。当院でも去る11月25日に消防訓練を実施しました。

3病棟ダイルームから出火したという想定で訓練は行われました。本番さながらの緊張感を持ち、職員一同、真剣に訓練を行いました。訓練終了後は、図書室にて消防署からの講評・職員による反省会が行われました。反省会では「患者への声かけを実施すること」「姿勢を低くして避難するなどの火災に関する基礎知識が不足している」などの声が上がりました。

今後の課題が浮き彫りになった消防訓練ではありましたが、訓練手順を職員で改めて共有できたのではないかと思います。



院内クリスマスコンサートの開催について

庶務係長 岡垣 哲也

12月20日、当院の外来ホールにて、クリスマスコンサートを開催いたしました。このクリスマスコンサートは、入院中の患者さんを中心に楽しんでもらえたらと例年行っているものです。「今年はいつ開催しますか。」と電話で問い合わせがあるくらい、周辺地域の方々にも楽しんでいただいているようです。今年の演奏者は「さらさ」になりました。この「さらさ」は前年に引き続き、2回目のお願いとなりますが、前回開催時に「次は、新外来でお会いしましょう。」とコンサートを終了したものの、新外来工事の遅れにより、今年も旧外来ホールでお会いすることとなりました。

「さらさ」は男性がアコースティックギター、女性がアイリッシュハーブを担当し、アコースティックデュオと呼ばれています。「さらさ」の奏でる曲は、とてもきれいな音色で、とてもクリスマスに合います。曲の合間には、楽器の説明などで観客との距離感を縮め、アンコールにも応えていただきました。そして、「次回こそ新外来で会いましょう。」と盛況なうちにコンサートを終わりました。コンサート終了後に観客の方々が「さらさ」の二人を囲み「良かったです。」「また来てください。」と話しているのがとても印象的でした。



▲会場設営前 外来ホール



▲会場設営後 外来ホール



平成23年度

中国地区

DMAT実働訓練に参加して



3病棟 副看護師長 平澤 久恵

平成23年11月19日～20日の2日間、島根県で行われた中国地区DMAT実働訓練にチーム（今田裕尊医師、廣田看護師、竹村薬剤師、岡垣係長）の皆で参加しました。

訓練は、24病院・129名のDMAT隊員と、松江消防本部・出雲消防本部・浜田市消防本部・島根県（医療政策課、消防防災課）と共同で行われました。

今回の訓練は、「島根県東部（内陸）で大震災発生！」と言う設定で、まず、DMAT隊員各個人の携帯へ情報が一斉にメール送信されます。その情報を基に、DMATのメンバーは、指定された参集場所（支援訓練病院）へどのような手段で行き、どのような活動をするのか？そのためには、何の装備が必要か？を考えて準備し、参集した場所で医療展開をするという内容でした。

参集場所は、支援訓練病院として松江赤十字病院・島根県立中央病院・浜田医療センターの3ヶ所と、広域医療搬送拠点として出雲空港があり、私たちは、浜田医療センターを目指し出発しました。

浜田医療センターへ到着後は、病院内に設置してある災害本部とDMAT本部の指揮下で、集中治療室へ次々運び込まれる患者（マグネットシンボルを用いた机上訓練）を、広域搬送の必要性があるかを判断し、優先順位を考慮しながら搬送までの医療展開を行いました。訓練ではありますが、情報の混乱、限られた人材や医療機器、予期せぬ事で起こる状況の中、どのように判断して行動する事がベストなのか、緊張感に包まれた時間でした。

訓練終了間際、本部より「広域搬送の患者を、ヘリ待機場所から名古屋空港もしくは福岡空港へ搬送して下さい。」と言う指令があり、チームの中から私が行くことになりました。

搬送までの準備はしたものの、搬送中、患者に急変があっても自分しかおらず、対応できるだろうかという不安が一気に押し寄せて来ました。実際には、ヘリ待機場所へバックボードと自家用車を使用し患者搬送を行うのみとなりましたが、普段、不便さを感じない段差が大きな危険に繋がることや、また限られた時間の中で、正しく病態を把握し判断することが、患者の予後を大きく変える結果となることなど、改めて気付くことが出来ました。

今後も、DMAT隊員としていかなる状況にも対応できるように、知識技術を磨き、災害医療における救急医療の展開が出来るようチーム一丸となり頑張っていきたいと思えます。



初期消火競技大会に参加して

企画課契約係 小林 拓馬

平成23年10月28日(金)、東広島市安芸津町安芸津市民グランドにて、第7回初期消火競技大会が開催されました。この消火競技大会は、初期消火技術の向上や自主防火体制の確立、防災意識の高揚を目的に毎年開催されるもので、今年は、下畑給与係と私が参加しました。例年に続き参加した「消火器の部」では、1チーム2名で構成され、火災発見から119番通報、危険物排除、消火器による初期消火の一連の動作について、その正確性と早さにより競技を行いました。

昨年の3月11日に発生した東日本大震災は、私たちに災害が発生した際における被害の甚大さを再認識させるとともに、防災対策の必要性を痛感させました。

今回、初期消火競技大会に参加し、適切な通報や初期消火技術の重要性を再確認することができ、防火・防災に対する意識の高揚を図ることができました。私は、今後もこうした大会に積極的に参加するとともに、今回の大会を通じて学んだことを病院で生かすことにより、災害に備えた職場作りに貢献できればと思います。



Wear of female office personnel's uniform.

Topic!

女性事務職員の制服着用について

管理課庶務係 富保 あずさ



▲筆者は前列右から3番目です



◀スカートタイプ、ズボンタイプの2種類があります

平成23年9月20日より、女性事務職員は制服の着用を開始しました。対象となっているのは、2階事務室、1階企画課医事、医療相談室NSW、医局事務員です。制服の着用は病院職員として、清潔感や統一感をもって業務にあたることを目的として始めましたが、実際に制服が整ったことによって職員同士の連帯意識が増し、気持ちを新たにして日々業務に取り組んでいます。また、制服の着用によって患者様から声をかけられることが以前に比べて増し、患者様と接する機会が増えたように感じます。今後は患者様など外部の方に対しても職員であるということが一目でわかるので、東広島医療センターの一員として今まで以上に気持ちを引き締めて業務に取り組んでいきたいと思っています。



※イメージ

人事異動 H24.1.1

採用



産婦人科部長 三好 博史
尾道総合病院より



麻酔科医師 曾根あゆみ
中国労災病院より

診療科名		月	火	水	木	金
内科 (内分泌科) フット:フットケア外来	午前	①新 小田 賀明 ②再 小出 純子	①新 小田 賀明 ②再 大江 健	①新 大江 健 ②再 小田 賀明	①新 小出 純子 ②再 大江 健	①新 大江 健 ②再 小田 賀明
	午後	①新 小田 賀明	②再 大江 健	②再 小田 賀明	②再 大江 健	②再 小田 賀明
神経内科		①新 野田 公一 ②再 野田 公一	①新 野田 公一 ②再 野田 公一	①新 野田 公一 ②再 野田 公一	①新 野田 公一 ②再 野田 公一	①新 野田 公一 ②再 野田 公一
呼吸器科		①新 重藤 えり子 ②再 村上 功治 ③再 増田 憲治	①新 重藤 えり子	①新 吉光 成児 ②再 重藤 えり子	①新 増田 憲治 ②再 重藤 えり子 ③再 村上 功	①新 村上 功 ②再 増田 憲治 ③再 吉光 成児
消化器科		後藤 栄造 鬼武 敏子	竹崎 英一 笹尾 昌悟 和田 慶洋	井上 基樹 鬼武 敏子	和田 慶洋 笹尾 昌悟	後藤 栄造 井上 基樹
循環器科		①新 小野 裕二郎 ②再 城 日加里 ③再 佐田 良治	①新 ②再 佐田 良治 ③再 柳原 薫 ④再 小野 裕二郎	①新 小野 裕二郎 ②再 柳原 薫	①新 ②再 佐田 良治 ③再 原 幹 ④再 城 日加里	①新 城 日加里 ②再 小野 裕二郎 ③再 (佐田 良治)
小児科		下田 浩子 今井 清香 上野 哲史 【担当医】	下田 浩子 佐伯 哲也 須藤 哲史 【担当医】	下田 浩子 須藤 哲史 今井 清香 【担当医】	下田 浩子 須藤 哲史 上野 哲史 【担当医】	下田 浩子 佐伯 哲也 今井 清香 【担当医】
外科		石田 伸樹 池田 昌博 壽美 裕介	高橋 忠照 豊田 和広 貞本 誠治 (脳神経外科にて) 中谷 玉樹 倉吉 学 石田 / 中野	高橋 忠照 石田 伸樹 貞本 誠治	豊田 和広 中谷 玉樹 中野 亮介	高橋 忠照 池田 昌博 壽美 裕介 (整形外科にて) 倉吉 学 (脳神経外科にて) 中野 亮介
	手術日			手術日	手術日	
整形外科		岸 和彦 今田 英明 田中 隆治	岸 和彦 今田 英明 渋谷 早俊	岸 和彦 田中 隆治	岸 和彦 田中 隆治 渋谷 早俊	今田 英明 渋谷 早俊 手術日
脳神経外科		勇木 清隆 貞友 政志	手術日	右田 圭介 今田 裕尊	勇木 清隆 今田 裕尊 原 政志	右田 圭介 貞友 隆
呼吸器外科		手術日	赤山 幸一	柴田 諭	手術日	柴田 諭
心臓血管外科		森田 悟	手術日	許 吉起	森田 悟	森田 悟
皮膚科		仁熊 利之 糸谷 友里	仁熊 利之 糸谷 友里	(第1・第3) 仁熊 利之 糸谷 友里 (第2・第4) 仁熊 / 糸谷 岡部 勉	仁熊 利之 糸谷 友里	仁熊 利之 糸谷 友里 手術日
	手術日					
眼科(休診)						
耳鼻咽喉科		杉本 一郎 大林 敦人	杉本 一郎 大林 敦人	杉本 一郎 大林 敦人	杉本 一郎 大林 敦人 手術日	杉本 一郎 大林 敦人
歯科		新後 眸			新後 眸	
緩和ケア外来		緩和ケア外来は、第1・第3木曜日の14時から16時まで			【担当】	
2階	泌尿器科	藤原 政治 永松 弘孝	藤原 政治 永松 弘孝	藤原 政治 永松 弘孝	藤原 政治 永松 弘孝	相模 浩二 手術日
	婦人科 (予約制)	三好 博史 手術日	小松 正明	小松 正明 手術日	三好 博史	小松 正明

受付時間 8時30分～11時30分 診察時間 8時30分～17時15分 ※救急患者様は随時診療いたします。

ただし、手術のため、木曜日の耳鼻咽喉科は9時30分まで、金曜日の皮膚科は10時30分までの受付時間となります。

歯科(入院応需)は臨時的に診察曜日が変更となることがあります。

予約受付 再診患者様につきましては、受診時に次回の診察予約ができます。また、定期的に受診されている場合には、電話での予約も可能です。

電話(082)423-1489(平日8:30から17:00)

婦人科予約 婦人科については全て予約制なので初診の方も予約してください。

診療日 月曜日～金曜日(土曜日・日曜日・休日・年末年始は休診となります。)